

羅針盤

KANSAI GAIDAI KYOSHOKU JOURNAL
教職をめざす学生・卒業生のために

COMPASS

第99号 2014.4.19(土) 発行

関西外国語大学
教職教育センター

SCET+

2014年、春学期スタート

今、教職をめざす学生は熱い!!! Go for it!

教職教育センター所長

角野 茂樹

春爛漫、ICCに学生が元気よくやって来ました。今年も「おはようございます。」「こんにちは。」と元気な挨拶があちらこちらから聞こえてきます。また、中庭のテラスにはベンチで語り合う学生で賑わっています。2014年、春学期のスタートです。

4/1の夜、卒業生から赴任の連絡がぞくぞくと入ってきました。社会人としての第一声です。「夜スペシャルや合宿で討論してきたことがそのまま役立っています。」「小学校1年生の担任で、入学式の準備に追われていますが、かわいい1年生が楽しみです。」「愛知県の支援学校の高等部に赴任しました。学校だよりのスペイン語訳で活躍しています。」「ただいま長野の研修中、もうすぐ大阪の銀行支店の窓口業務に就きます。笑顔と大きな声が活躍しています。」「社会人として巣立っていく姿に、たくましさを感じ、同時に私たちも教師としての喜びを感じています。

今年も4回生は、教員選考試験に向けて、2月からあちらこちらで自主ゼミをスタートさせてきました。そして、4/8から(火・水・木の5限)に特別講義「夜スペシャル」に参加し、互いに切磋琢磨し、自己実現をめざします。当然、留学先の学生からの連絡も入り、帰国したらすぐに参加しますとのメッセージが届いています。今年は、3回生も多数参加してくる予定で、活気あふれる取組になるでしょう。シーズン到来です。

「先生、週1日小学校にボランティアに行きます。」と授業の初日の夕刻、小学校教員コース2回生の学生が、授業後の教室に訪れました。教育実習ガイダンスを経て、人として大きくなったなあと感じた瞬間でした。自律しはじめる姿に、またたくまじさと成長を感じました。また、彼らに続く小学校教員コース2期生が35名入学しました。元気いっぱいの積極性のある集団で、ICCでは、教員をめざす学生で活気が満ち溢れています。

もうすぐ小学校教員コースの合宿です。先輩の2回生も4人応援にかけつけてくれます。また5月には、教員採用対策の合宿もあります。そこには、2.3.4回生を中心に留学先から帰国する学生、先輩教員が応援にかけつけて切磋琢磨しあい有意義な学習会となるでしょう。今、教職をめざす学生は熱い!!! Go for it!

英語キャリア学部・小学校教員コースの1期生も2回生となり、1年間の成長とそれぞれの自覚の高まりを感じます。新たな決意を紹介します。

英語キャリア学部・小学校教員コース 2回生 越智康介

関西外国語大学へ入学して1年が経ち、私の夢である教師への道も毎日一步一步進んでいます。ここ関西外大では去年度より小学校教員コースが新設され、我々一期生には多くの期待が寄せられています。しかし、クラスの中には小学校の教員ではなく中学校、高等学校の教員を目標としている人もいます。私もその中の一人です。私が関西外大へ入学しようと思った理由は教師になりたいという思いが一つあります。そのためには、まず教員採用試験に合格しなければなりません。ですが、今日では一つの教員免許では弱いと考えました。また、私はバスケットボール部の顧問を小学校、中学校、高等学校でやりたいと考えたので、一つの大学で3つともとれる関西外大を選びました。

一回生ではとても多くのことを学びました。大きく分けて3つあります。一つ目は外大なので当たり前のことですが英語です。ネイティブの教授方が毎週、私たちが実際に小学校の教員になったときにこのように授業すればいいと、教えてくださいました。私もこれらの授業はとても役立つと考え授業でもらったプリントはファイルして保存し、数年後教師になったときに活用しようと考えています。二つ目は教職教養の授業です。実際に教育の現場に携わっていた教授の授業は私たちにはとても刺激的でいつも聞き入っていました。三つ目はボランティアです。大学がお願いし、枚方の小学校へ訪れ、生で教育の現場を体験してきました。私は算数の授業で頭をかかえていた子によりそい、その子が「わかった！」と目を輝かせたときは、あらためて教師になりたいと思いました。私はそれとは別に母校の中学校でバスケットボール部の外部コーチをしています。大学があるので、主に毎週土・日曜日と長期休みだけは毎日行っています。ここでも自分が教えたプレーを試合でしたとき、できなかったことが出来るようになったとき思わず鳥肌が立ちます。休日はなくなりますが、あの時の感覚が自分にとっての教師になりたいと思う原動力だと感じます。

2回生になるに当たって今の自分にはやはり教えるための英語の実力がまだまだ不十分であることを自覚しています。そのため、卒業後には青年海外協力隊（JICA）に参加し、ボランティア活動を通して、自分に付加価値をつけたいと思っています。それは単に喋るだけでなく議論できる「使える英語」が身につけていないということです。さらにバスケットボールのコーチに必要な指導力の不足も感じております。このように大きく分けて3点が教師になるのに必要不可欠だと考えるので、2回生ではTOEFLの勉強、英会話、バスケの勉強を頑張りたいと思います。

英語キャリア学部・小学校教員コース 2 回生 松川 花純

入学してから、もう一年が経ちました。一年前を振り返ると、自分の好きな英語であったり、小学校の先生になりたいという自分の夢に関するものごとであったり、自分の関心のあること、好きなことを学ぶことができるのだ、と外大に入学するのを心待ちにしていました。

実際に大学で生活をし始めると、なにもかもが新鮮で、友達もでき、月日の流れが早く感じられるほど毎日充実していました。小学校に行き、現場を見る機会をいただき、先生方の授業の仕方、児童への対応、学校の現状を観察させていただいたり、児童と接することができたりと貴重な経験もさせていただきました。授業を受けたり、このような経験をさせていただいたりするうちに、益々教師になりたいという思いは強くなりました。ですが、楽しいことばかりではなく、授業を通じて、教師の魅力、やりがいと共に大変さ、難しさを感じ、私に教師が務まるのか、向いているのかと悩んだこともありました。英語の方は、好きだけれども得意ではなく、授業についていけないと感ずることもありました。そんなとき、クラスの仲間や、友達の意見や考えを聞いたり、悩みを聞いてもらったり、お互いの教師像、教育や学校についての考えを交換したりすることで、刺激を受け、励まされ、夢への思いが強くなりました。友達にはすごく助けられたし、影響もたくさん受けました。今後も共に成長していけたらいいなと思います。

このように、改めて振り返ってみると、反省するべき点があがってきましたので、それを二年になるとともに改善していきたいと考えます。今年度は、「まず行動にうつす」というのをモットーにしたいと思っています。これは、この春休み、いろいろな人達と接す機会があり、気づいたのですが、今までは、心の中で、ただ不安になったり、自信をもてなかつたりする割には、それを換えようと勉強するだとか、なにかに参加したりして経験を増やすだとか、そういった積極性が欠けていました。自分に甘くなっていました。不安だと感じたり、自信をもてなかつたりするのは、私の努力不足なのだと、ある人を見てすごく感じました。その人は、自分に欠けているところに気づいたとき、落ち込むのではなく、人一倍努力していました。常にアンテナを張り情報を取り入れ、あらゆることに挑戦したり、イベントに参加したりと行動力がとてもありました。私はこの人を尊敬していますし、目標にしています。この春休みで、とてもいい影響を受けることができたと思っています。

二年では、教師になりたいという強い思いと、あらゆることを学びたいというような新たに知ることの楽しみや、向上心に満ち溢れていた初心を忘れることなく、自分に厳しく、あらゆることに挑戦することのできる一年にしたいなと考えています。

教職をめざす学生が本当に熱く燃えています。特に英語力の増進に精進していることがよく分かります。採用試験や教育実習を目前に控えた4回生はもちろん3回生も留学を前に資格試験対策に躍起になっています。そんな先輩たちに負けずに必死にTOEFLスコアアップに向けて奮闘する姿があります。その飛躍の謎に迫ります。

「英語力向上の謎」

外国語学部 英米語学科 2回生 田中知宏

英語力という人によって定義は異なると思います。ただ、共通している部分としては、私もそうですが、皆さんは英語力の向上を常に望まれている事だと思います。でも実際どうすれば上がるのかなかなか解決策を見出すのは難しいですね。かといって、上がらないままではこの教職課程の特徴である TOEFL による進級判断で落とされて、せっかく単位を取ったのに、という事にもなりかねません。

もちろん TOEFL がすべてではないですが、点数が上がった時、英語の力がついてきたなと感じた人は少なからずいる筈です。私もその一人で最初に TOEFL を受けた時から 70 点も上がった時はかなり英語力の伸びを実感することが出来ました。もちろん初めから上手くいくわけがなく、何度も点数が下がり、勉強が上手くいかない時期が多々ありました。今回ここでは TOEFL を例として、私なりの英語力の上げ方と上手くいかないときの対処法について簡単に記していきます

「3つの柱」

まず TOEFL の対策としては、以下の 3 つをベースとして、対策を進めていきました。

①目標の明確な設定

無論多くの方がいろいろな目標を掲げていると思うのですが、僕はこれが TOEFL、また英語力をつけていく上で最も重要だったと感じました。目標があいまいだと何に手を付けていいかわからず、かえってやる気をなくしたという人も多いはずですが、僕の場合目標に期限をつけ、それまでに 1 日ごとにすべき事を設定することで、モチベーションのキープを図りました。一見簡単なようで意外と難しいので、常日頃から自分の目標を見直すことが大事だと思います。

②自分に合う勉強法の探求

人それぞれ TOEFL の対策があると思うのですが、中にはスコアが、ある点数から急に伸びなくなったという方は多いと思います。僕もスコアが伸び悩む時期が度々あり、同じような思いをしていました。初めの内はネットで対策法を検索してみたり、教授にアドバイスをもらって試してみたり、とにかくいろいろなアドバイスを受けたり、自分でどんな勉強法があるのか探した結果が今の結果につながったと感じます。最初はなかなか自分に合ったものが見つからないでしょうし、人によって時間がかかるかもしれませんが、根気よく探し続ければきっと自分に合うものが見つかると思います。

③レビュー

TOEFL の場合 3 つのセクションがありますよね。バランス型の人であれば文法が得意、リスニングが得意といった方もいると思います。そういった強みを確認したうえで、得意なセクションを手始めに強化していけば総合点は上げやすくなる筈です。逆に敢えて苦手な分野に専念して、深めていくのも 1 つの手ではあると思います。大事なのは結果を確認して自分の今の能力を分析

することがその後の能力の向上につながっていくという事です。

以上の3つが、私の TOEFL の勉強において最も役立った考えです。上記は TOEFL を例として挙げていますが TOEIC, 英検等の資格英語、実際の授業や、自主勉強にも反映が可能だと思っています。例えばある日のディスカッションが上手くいかなかった時には、その日のうちにレビューして反省する事で次の向上につなげる事は言うまでもなく大切な事ですよね。会話力の向上のために留学生と話してみるといった積極的な姿勢も英語力の向上には必要不可欠です。とにかくまず目標を決めその達成のために必要なことを考え動けば、いい方向にモチベーションをキープ出来るでしょうし、また自ずと結果はついてくると思います。特に1回生の方はこの事を念頭に置いて、行動して頂きたいです。

以上が私の TOEFL を例とした英語力の伸ばし方のアイデアでした。つたない文章でしたが最後まで読んでくださり本当にありがとうございます。TOEFL 等の資格英語のスコア、英語力を上げたいという方々の参考になれば幸いです。

《羅針盤次号予告とお願い》

平成16年12月に創刊された本誌「羅針盤」は、来月発刊で100回を迎えることとなります。関西外国語大学で教職をめざす学生の教職に関わるあらゆる情報を分かち合い、よりよい教員になることを目指し、まずは教員採用試験突破という第一関門をパスする認識を共有してきました。

つきましては、教員採用試験合格の夢や目標を実現してきた多くの先輩や諸先生方に、記念すべき100号に熱い思いを寄稿していただき、次へのステップにつなげたいと考えております。皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。(文責：岡澤潤次)

編集後記——教職教育センターより——

新年度が始まりましたね。桜前線が通過した後、今は違う種類の桜が所々で控えめに開花しているようで、それもまた美しく、季節を感じられます。

日中はあったかくなってきたかと思いきや肌寒い日は続き、着る服や靴に困ってしまいます。布団もまだまだ心地よく感じられ、ミノムシのようにいつまでも布団にくるまり、冬以上に春は起床に時間がかかってしまう気がします。

きっと春は、花も虫も動物も人間も、みんなが「衣装」や「寝床」に悩んでいるのではないかと、どんどん想像が膨らんでいきました。